

私はしののめ青年部の皆さん、
が、「お茶を通じて社会
とを目的として、その活動
で接する多くの人々に「喜
んでいただくなることの喜び」
を体感し、日々の生活に
すなわち貢献することの喜び」
を体感し、日々の生活に

先輩方が創られたしのの
めの伝統をさらに進化させ
るべく、会員の皆さんと共に、
迷走しながらも全力疾
走してまいりました。振り
返りますとたった二年間に
も満たない期間ですら、た
くさんの皆さんの努力によ
て支えられていることを再
確認する毎日でした。

私はしののめ青年部の皆
さんが、「お茶を通じて社
会が少しでも良くなること
を目的として、その活動
で接する多くの人々に「喜
んでいただくなることの喜び」
を体感し、日々の生活に
すなわち貢献することの喜び」
を体感し、日々の生活に

おかげさまで、しののめ
青年部の部長を何とか無事
に務めさせていただきました。

先輩方が創られたしのの
めの伝統をさらに進化させ
るべく、会員の皆さんと共に、
迷走しながらも全力疾
走してまいりました。振り
返りますとたった二年間に
も満たない期間ですら、た
くさんの皆さんの努力によ
て支えられていることを再
確認する毎日でした。



ご挨拶
部長 高橋 康高

役だててほし
いと思つてい
ます。

青年部は来

期から、新た

な体制として

進化統合し、

「他人を思い
やり感謝する
心」を胸に、

一歩、また一
歩と歩みを進
めてまいりま
す。

最後になり
ましたが、鵬
雲斎大宗匠様、
お家元様、ご
宗家の皆様方、
総本部、幹事
長先生、相談
役先生、たく
さんの親先生、
先輩諸兄のご
指導と、温か
い励ましのお
言葉に対し
て心から感謝申
し上げ、ご挨
拶とさせてい
ただきます。



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪西支部
しののめ青年部
大阪市阿倍野区北畠3-11-34
高橋 康高 方



**おおかわ
法律事務所**

弁護士 大川 伸郎

社是「まこと」
当社の社名であり社是でもある「まこと」とは、
創業者である清水藤吉が名付けたものです。
漢字で書けば「まこと」は、誠、眞、信、実... etc.
といろいろな文字があります。
それらの漢字それぞれの意味をあわせ持たせた、ひら
がなの「まこと」こそが、当社の目指す「まこと」です。

MAKOTO
CONSTRUCTION
CO., LTD.
まこと建設株式会社

〒550-0014 西区北浜2丁目17-8 TEL 06-6541-4331㈹ FAX 06-6541-4330
URL: <http://www.makoto-kensetsu.co.jp> E-mail: info@makoto-kensetsu.co.jp

L.world

www.muse-osaka.com
muse-osaka@muse-osaka.com

大阪西支部新春・合同茶会 西支部CHA・チャ・茶
一月十九日 豊国神社

華やかに飾りました。
点心席の床には、七福神
の御朱印と扇、福助や干支
の人形を置き、その福助が
扇をあげているように飾り
つけました。お酒は今年一
年笑って過ごしていただき
たい思いで七笑酒造の「豪
笑」をお出ししました。

男性会員担当の濃茶席で
梅と出雲春宵を生
け、席中にて、し
ののめ青年部部長
となみはや青年部
副部長より新年の
ご挨拶をさせて頂
きました。

女性会員担当の
薄茶席は、歌花筒
に鵬雲斎大宗匠御
染筆短冊「和氣生
萬福」を掛け、迎
春花・天竺花火・
姫芙蓉を生けまし
た。お席の設えは
勅題の「岸」にち
なみ、入口から青
年部手作りの江南
棚に向かって岸辺
のように緋毛氈を
敷き、和傘・餅花
などを新春らしく

見を出し合い、趣向を考え
おもてなし致しました。
各席ともに両青年部が意
思いを出し合い、笑顔で「楽しかっ
たわ」とお声をかけて頂き、
今後も、お客様に喜んで
ただけるよう、新しい事に
挑戦し努力していきたいと
思いました。

帰りの際、笑顔で「楽しかっ
たわ」とお声をかけて頂き、
おもてなし致しました。お
年笑って過ごしていただき
たい思いで七笑酒造の「豪
笑」をお出ししました。

華やかに飾りました。

点心席の床には、七福神
の御朱印と扇、福助や干支
の人形を置き、その福助が
扇をあげているように飾り
つけました。お酒は今年一
年笑って過ごしていただき
たい思いで七笑酒造の「豪
笑」をお出ししました。